

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、此の度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- [1998] 抗CCP抗体(抗シトルリン化ペプチド抗体)

### 受託開始日

- 平成19年4月23日(月)

# 抗CCP抗体

抗CCP抗体はRA患者の関節滑膜に発現する各種シトルリン化蛋白の一つであるフィラグリンのシトルリン化部位を含むペプチドを環状構造とした抗原(CCP:cyclic citrullinated peptide)に対する自己抗体です。

抗CCP抗体は関節リウマチ(RA)患者で87.6%と高い陽性率を示す一方、非RA疾患では88.9%と極めて高い特異度が報告されています\*。またセロネガティブRA症例においても陽性率が高くRAの早期診断補助として期待されています。

\*:MBL社パンフレット「抗フィラグリン抗体研究会データ」より

## 検査要項

項目コード	1998
検査項目名	抗CCP抗体 (抗シトルリン化ペプチド抗体)
検体量	血清 0.3mL
保存方法	凍結
検査方法	EIA
基準値	4.5 U/mL未満
所要日数	3~6日
検査実施料	210点(D014「15」自己抗体検査)
判断料	144点(免疫学的検査判断料)
定価	3,000円
備考	1.診察、リウマチ因子測定、画像診断等の結果から、関節リウマチと確定診断できない者に対して診断の補助として検査を行った場合に、原則として1回を限度として算定する。ただし、当該検査結果が陰性の場合においては3月に1回に限り算定できる。なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、検査値を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。 2.IgG型リウマチ因子精密測定、C <sub>1</sub> q結合免疫複合体精密測定、C <sub>3</sub> d結合免疫複合体精密測定、モノクローナルRF結合免疫複合体精密測定、抗ガラクトース欠損IgG抗体精密測定及びマトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)精密測定のうち2項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの1つに限り算定する。

## 主な対象疾患

- 関節リウマチ(RA)

## 関連項目

- RA
- RAPA(RAHA)
- リウマチ因子定量
- 抗ガラクトース欠損IgG抗体(CA-RF)
- IgG型リウマチ因子

## 参考文献

Suzuki K, et al: Scand J Rheumatol 32 :197-204,2003.